

運営の総括

2004年度は押し寄せる要求への対応、提案着手する事業のひとつひとつが先駆的かつ実験的であるということを念頭に事業の3つの柱をたてた。

行政とNPOとの協働のあり方について事例を収集しながら検討し提言として明確にする

NPOの経営に必要なマネジメント能力の向上及びNPOで働く人材育成に努める

NPO支援のあり方を検討し、社会の仕組みとして形成する

1つ目の柱については、厚生労働省や市町村の事業を進めるにあたり、発生する課題のひとつひとつに提案や具体的な解決策を提示し、話し合いの場を持った。

2つ目の柱は前年度までの実績を活かし、各種セミナー開催や公共職業訓練および短期の起業家育成訓練を実施した。さらに若年者就労支援推進事業についても同様にジュニア・インターンシップでは受け入れ事業所を増やし、新たにキャリア探索プログラムも実施した。

3つ目の柱には組織インキュベート事業や情報提供・ネットワークの促進・県税使途指定制度の推進を行った。また他団体とともに「いま「共同」を拓く2004全国集会 in ながの」や「NPO支援センタースタッフ研修会」の運営も行った。